

シンポジウム「自然免疫、その新展開」を開催しました。

日 時 2011年11月4日(金) 13:00~17:10

場 所 東商ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2 東京商工会議所4階)

自然免疫制御技術研究組合では、健康維持における免疫の重要性が高まりつつあることから、免疫分野における最新の研究の動向をわかりやすく紹介することが重要であると認識し、11月4日、自然免疫に焦点を当てたシンポジウムを開催いたしました。

当日は、順天堂大学教授 奥村 康 氏を座長として、東京大学名誉教授 光岡 知足 氏、大阪大学教授 審良 静男 氏、香川大学客員教授・徳島文理大学教授 柚 源一郎 氏にご講演をいただき、後半のパネルディスカッションでは、来場者からの質問に対し、その内容に応じて専門の講師が答えるという場面が多くあり、腸内細菌、免疫応答メカニズム、放射線被爆と自然免疫など、多岐にわたるキーワードをもとに、活発な議論が繰り広げられました。

260名以上を数えた出席者の多くは、食品関連企業や研究機関の研究に携わる方々で、自然免疫を含む「免疫」の新たな可能性に期待するという声を多数頂くことができました。

ご参加の皆様、関係者の皆様におかれましては、ご多忙のところご来場いただき、誠に有り難うございました。



座長(奥村氏)



講演の様子(光岡氏)



講演の様子(審良氏)



講演の様子(柚氏)



講演の様子



パネルディスカッションの様子